

令和2年度 第1回愛媛県渋滞対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和2年8月7日（金）10：00～12：00

2. 場 所：国土交通省 松山河川国道事務所 2階 第1, 2会議室

3. 議 題

- (1) これまでの経緯
- (2) 最新交通データによる渋滞状況検証
- (3) 主要渋滞箇所の見直し（案）
- (4) 道路利用者会議からの要望に対する対応状況
- (5) 観光期における経路誘導対策の実施状況
- (6) 緊急事態宣言による交通状況の変化
- (7) 道路交通アセスメントについて
- (8) 都市内の路上荷さばきに起因する渋滞対策の考え方
- (9) 具体的な対策の実施状況および今後の実施予定

4. 議事要旨

- 松山IC付近、松山空港付近、大洲市内における主要渋滞箇所のモニタリング結果を報告した。
- 昨年度対策を実施した「新居浜IC入口交差点」、「県民文化館前交差点」について、対策実施による混雑緩和は確認されるものの、主要渋滞箇所からの解除基準に至らないため、今後も渋滞状況の検証を継続することを報告した。
- 道路利用者会議からの要望に対する対応状況では、外環状道路空港線側道部の延伸に伴う通行経路の変更について、カラー舗装による方向別の誘導策や情報提供の方法について意見が挙げられた。
- 観光期の国道33号の経路誘導対策について、コロナ禍による影響を踏まえ、今年度（GW及びお盆）の実施を中止し、令和3年度のGWから再開することについて了承された。
- また、国道56号から大洲道路への経路誘導対策の実施可否については、今後のコロナ禍の状況を踏まえ決定することを報告した。

- 緊急事態宣言下における交通状況の分析については、渋滞対策検討の上で重要であり、車種別の検討やETC2.0を用いた経路分析を加えるなど、引き続き分析する必要があるとの意見が挙げられた。
- 通常期のみならず、緊急事態宣言下における交通状況においても、松山空港周辺やその北側に位置している港湾沿いの道路については、交通量や旅行速度の改善が見受けられず、松山外環状道路は経済を支える重要な路線であることから、1日でも早い松山外環状道路空港線全線開通や松山外環状道路の北吉田交差点以北の早期計画策定の必要性があるとの意見が挙げられた。
- 道路交通アセスメント及び路上荷さばきに起因する渋滞対策の考え方について、情報提供を行った。
- 今後の渋滞対策について報告し、了承された。